

nuwnet1x設定手順 Windows 10 編

名古屋大学情報連携推進本部

2021/01/18 第2版

nuwnet1xとは

- IEEE802.1x認証に基づく名古屋大学無線ネットワークサービス
 - 詳細は末尾の技術仕様を参照
- メリット
 - 自動認証が容易：スマートフォン等で利用しやすい
 - 安全：暗号化、偽アクセスポイント対策
 - IPv6通信が可能
- デメリット
 - ゲストIDでの利用不可（名古屋大学ID保持者のみ対象）
 - OSによっては初期設定が面倒
 - 古い機種では対応していない場合がある

準備1

- 名古屋大学ID

<http://www.icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/nuid/>

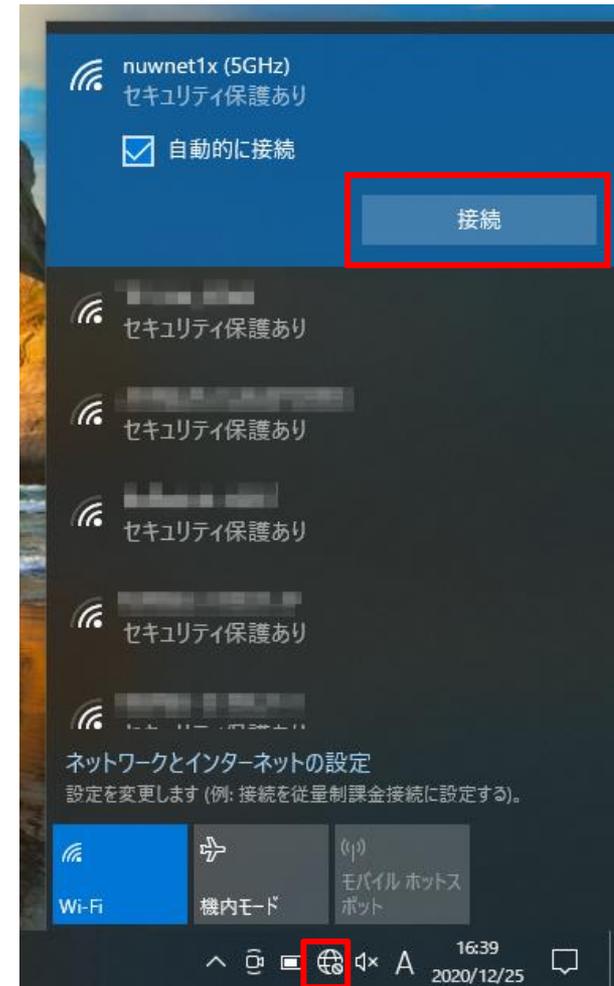
- 職員証・学生証の裏面、バーコード下にある英字2文字+数字7文字のID
- パスワード紛失等は以下の窓口まで(詳細は上記URL参照)
 - 学生：情報メディア事務室(IB館北棟10階)
 - 教職員：情報基盤センター1階窓口

準備2

- 名古屋大学IDのパスワード変更を、**2011年11月1日以降に1回以上**行っている必要がある
 - パスワード変更ページのURL
<https://directory.nagoya-u.ac.jp/chpasswd/>
- NUWNETの利用登録が必要
 - 利用登録ページのURL
<https://nuwnet.icts.nagoya-u.ac.jp/>
 - 名古屋大学IDですでに利用登録し、NUWNETを使用したことがある場合は不要

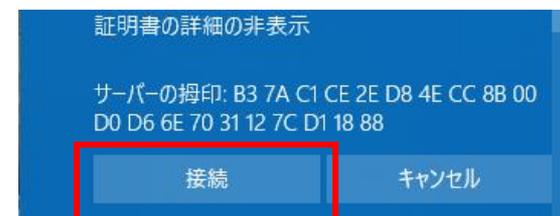
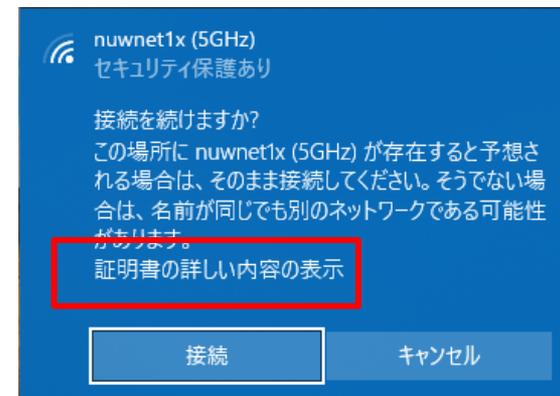
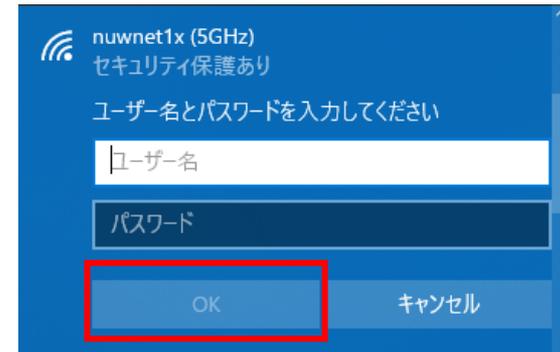
設定手順1

- デスクトップ右下の無線マークをクリックすると、利用可能な無線ネットワークの一覧が表示されるので、「nuwnet1x (5GHz)」もしくは「nuwnet1x」を選び、「接続」をクリック。



設定手順2

- 名古屋大学IDとそのパスワードを入力し、OKをクリック。
- 初回接続時のみ、確認画面が出るので、「証明書の詳しい内容の表示」をクリック。
- 表示された拇印が、
<http://www.icts.nagoya-u.ac.jp/nu-only/ja/services/nuwnet/wnet-certs.html>に記載されたものと一致していることを確認し、接続をクリック(了)。



IPv6

- nuwnet1xはIPv4とIPv6を同時に使うデュアルスタック運用
 - IPv6アドレスはグローバルアドレスを付与
 - Router Advertisementを使用
 - IPv6的にはインターネット側から端末が直接見える
- DNS
 - IPv6でDNSサーバにアクセスするには手動設定が必要
 - IPv4でDNSサーバにアクセスしてもIPv6アドレス(AAAAアドレス)を解決することはできる

トラブルシューティング

- 認証に失敗する場合
 - 無線LANの電波が十分強いかを確認
 - 通信が不安定な状況では認証に失敗しやすい
 - IDとパスワードが正しいかを確認
 - コピー&ペースト時などに、余分なスペースが入っていることもある
- IPv6による通信が行えない場合
 - ソフトウェアの設定でIPv6の使用をオフにしていないか確認

技術仕様

SSID	nuwnet1x (5GHz) もしくは nuwnet1x
ユーザ名およびパスワード	名古屋大学IDおよびパスワード
認証方式	WPA2 Enterprise (IEEE 802.1x) EAP-PEAP (フェーズ2認証 : MSCHAPv2)
暗号化方式	WPA2-Enterprise, AES
サーバ証明書	システム証明書を使用する(「ドメイン」の項目は「 nagoya-u.ac.jp 」を設定)
ルート証明書	Security Communication RootCA2
端末証明書・ユーザ証明書	使用しない
IPv4アドレス	プライベートアドレス (エリアごとに別サブネット)を DHCPにより付与 インターネットアクセスはNAPTによる
IPv6アドレス	グローバルアドレス (エリアごとに別サブネット)を IPv6 Router Advertisement により付与
DNSサーバ	10.72.0.21, 10.72.0.22 (自動設定) IPv6用のDNSは手動による設定が必要